様式２－２

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	21,980	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,094	人	利用者の１日の平均労働時間数	5	時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（　4月～3月

前々々年度（　　５年度）

生産活動収入から経費を除いた額	25,432,050	円	利用者に支払った賃金総額	21,825,409	円	収支	3,606,641	円

前々年度（　　６年度）

生産活動収入から経費を除いた額	24,930,760	円	利用者に支払った賃金総額	23,934,318	円	収支	996,442	円

前年度　（　　７年度）

生産活動収入から経費を除いた額	25,236,292	円	利用者に支払った賃金総額	24,599,313	円	収支	636,979	円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（　６年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☑

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☑

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☑

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☑

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☑

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☐

（Ⅳ）　支援力向上

前年度（　7年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☑
◎外部研修、もしくは内部研修を１回以上実施している。 ☑
※研修名　「障害とともに生きる人々の意思決定支援」
研修講師：聖学院大学准教授　小沼先生
実施日・受講者数　令和8年2月24日他　18人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において１回以上発表している ☑
※研修、学会等名
「障害者就労継続支援事業所ではたらく」
実施日　令和8年1月15日

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☐
他の事業所名　就労継続支援B型事業所みなとワークアクティ
実施日：令和8年1月26日～1月30日
参加者数：１人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ１回以上参加している。 ☑
※商談会等名　MIM-NANOマルシェ
主催者名　港区障害者福祉課、明治安田生命
日時：　令和7年11月21日
内容　民間企業と地域の福祉施設による合同販売促進会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☑
◎当該人事評価制度を周知している ☑
人事評価制度の制定日：令和元年10月24日
人事評価制度の対象職員数　25名
うち昇給・昇格を行った者　25名
当該人事評価制度の周知方法
制度導入にあたり対象者への説明会

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している ☐
※配置期間　　月　日～　月　日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☑
※評価を受けた日：　令和7年12月16、17、19日
第三者評価機関　　株式会社日本生活介護

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☑
※認証を受けた日：令和4年6月3日
規格等の内容：認定NPO法人

（Ⅵ）　経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐
※受理日　　年　　月　　日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。